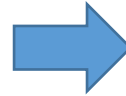
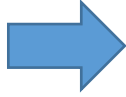




西栗倉小学校だより

No. 8

令和7年12月8日（月）



上のイラストの並びをご覧いただければ、もうお分かりですよ。周りを見渡すと、クリスマスやお正月商品が目につくようになりました。今年も残りわずかとなりました。

みなさんにとって、今年はどうな1年だったでしょうか？

児童にとっては、どんな歳だったでしょうか？

西栗倉小学校の1年を振り返ると、13名の新入学児と、3人の転校生を迎え入れ、69名でスタートをきった始業式を思い出します。今年から、新たに学校目標を変え、「わがごとプロジェクト」を進めていこうと決意した日でした。

PTA総会でも、学校パンフレットを保護者の皆様に配付させていただき、学びも普段の生活の問題も、他人ごとではなく、我ごととして捉え、仲間と共に解決に向かって取り組もうとする児童と一緒に育てていきたいと思います、お話しさせていただきました。

「あわくらみらい学」や「ホームタイム」など、児童と一緒に学校づくりに取り組もうと、それぞれが頑張ってきた1年でした。

決して、順風満帆ではありませんでしたが、失敗や困難に向き合い、一つ一つ解決しながら進んできたこれまでの航海に、児童の様々な成長がみられました。

この航海は、3学期も続きますが、まずはここで一区切り。来年の児童の成長を楽しみにしつつ、新たな新年を迎えることといたします。

皆様におかれましても、ご家族そろってよい年をお迎えください。

全校で楽しんだ 西栗倉小学校まつり



児童による、児童のための縦割り活動。それがホームタイムです。このホームタイムを手探りで進めてきましたが、ついに児童が主体的になって企画、準備をした「西栗倉小学校まつり」が、12月4日（木）に開催されました。全校児童が楽しみにして当日を迎えました。

各縦割り班ごとに出店を出し、お店屋さんとお客さんを交代しながら、互いの出店を楽しむという企画です。5、6年生がリーダーではありますが、1年生だって、りっぱな店員さんです。ちゃんと役割があり、自分の仕事をてきぱきこなしていました。うまくいかないときは、さすが、高学年。臨機応変にルールを変えたり、お客さんに対応したりしていました。

やらされるではなく、与えられるでもなく、全員が自分から携わり、メンバーと協力しながら、自身の仕事をこなし、相手を喜ばせる楽しみを味わっていました。まさに、「わがごと」となった児童の姿が見られました。

児童に感想を尋ねると、「面白かった」「またやりたい」との声が連発でした。

中には、「低学年が言うことを聞いてくれず、大変だった」と愚痴をこぼす児童もいましたが、そういった時に、どう自分の気持ちを伝え、相手に理解してもらうかを考えて実践することも、人との付き合い方を学ぶ大事な機会です。

こう考えれば、児童の主体的な活動の中には、学びがたくさんちりばめられています。

2学期の最後に、こんな姿が見られたことは、本校にとっても、意義のあることだったと思います。今年のまとめが、ここに集約されていたような気がします。

3学期もホームタイムは続きます。けっしていいことばかりではないでしょうが、それでも、本校の児童の成長が見られると信じて頑張ります。3学期も応援のほど、よろしくお願いいたします。